修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　早川泰雄
東京都千代田区西神田
2丁目8—7（幅ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）3—36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。

従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務である。

（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

# 輝く新春を迎う

## 目標は日本人育成に

文部大臣　内藤誉三郎

内藤文部大臣

昭和五十四年の新春を迎え、国民の皆様にお喜びを申し上げるとともに、文教行政について所感の一端を述べてごあいさつといたします。

私は、教育一筋に四十数年取り組んでまいりましたが、このたび文部大臣の重責を担うことになり身のひきしまる思いがいたしております。

戦後の混乱と窮乏の中で、国家再建の根本を教育に求め、六・三制による教育改革を断行し、その後の関係者のたゆみない努力によってわが国の学校教育は比類をみない拡充を遂げておりますが、なお解決すべき課題を抱えております。また、今日わが国は経済の著しい発展により物質的には豊かな経済大国に成長しております。しかしながら、資源に乏しいわが国が世界各国との協調の下に、将来にわたって発展を続け、活力に富んだ国家社会を築いていくためには「物で栄えて心で滅ぶ」という古代ローマの二の舞いにならないよう、豊かな教養を身につけ、創造力に富んだ、国際的にも信頼と尊敬を勝ち得るたくましい日本人を育成することが国政の最重要な課題であると確信いたしております。

国民の皆様方の一層のご理解とご協力を切にお願いいたしまして新年のご挨拶といたします。

## 新しい修学旅行創造

日本教職員組合中央執行委員長　槙枝元文

槙枝委員長

新春にあたり、心から連帯のご挨拶を申し上げます。

全修協の事業も、関係者の皆さんのご努力によって、ますます発展していることを喜びたいと思います。

入試地獄が叫ばれだして久しい時が過ぎ、教育の荒廃はいよいよ深刻なものがあります。

かつては「修学旅行」は、子どもたちにとって生涯に残る楽しい思い出でしたが、ここ数年、修学旅行にまつわって報道されるさまざまな事件は、教育荒廃がもたらした子どもたちの心の荒廃のあらわれとして重視しなければなりません。

しかし一方では、都市中心の修学旅行をやめて、農村の実態にふれる修学旅行計画や、グループ別に自主的に修学旅行計画をたてて報告書をまとめるといった新しい試みも、行なわれていると聞きます。

全修協が「新しい修学旅行」のあり方について、今後も現場教師と討議を深め、有意義でかつ楽しい思い出として残るような修学旅行を創り出してほしいものです。そのこと自体が、教育荒廃をなくす一つの運動ともいえるからです。

教職員の国内外の研修旅行も最近ふえてきています。国際理解を深める教育の重要性が叫ばれている折から、教職員自らが視野を広め、新鮮な知識を求め、さらには教職員同士の友好を深めるための旅行は当然推進されなければなりません。ありきたりの海外旅行でない新計画を是非練りあげてほしいと思います。

一九七九年も、ひきつづき政治的にも経済的にもきびしい年になるでしょう。日教組は「わかる授業・楽しい学校」づくりをめざし学級規模の縮小、任命主任制を中心とする管理体制打破のたたかいを一層強化する決意です。ともに八〇年代にむけて、明るい展望をきりひらくための全力を尽そうではありませんか。

全修協のご発展を祈念して新春のご挨拶とします。

（全国教職員福祉団体連絡協議会長）

## 飛躍する年への課題

財団法人・全国修学旅行研究協会

理事長　山本種一

一九七九年新春のお喜びを申しあげ、みなさまのご健康といっそうのご活躍を心からお祈りいたします。

円高不況の経済情勢を中心とする厳しい社会状況のもとで全修協が修学旅行の改善向上を通じての青少年教育への寄与と研修旅行を通じての教職員福祉への貢献という二大根幹事業を中心に着実に前進を続けておりますことは、教育を熱愛する全国同志の組織的団結と、各界多くの方がたの限りないご支援のたまものと深く感謝いたします。

修学旅行も研修旅行も、旅という集団生活のなかで、人間形成をするという点で共通するものがあります。旅にでて、こまやかな人情風俗、すぐれた文化美しい自然に触れることによって、豊かな人間性を養うことができます。「旅は自分をうつす鏡である」といわれるゆえんであります。曇った鏡には何もうつりません。近年、いわゆる観光旅行においても、教養的要素を求める傾向が強まってきています。修学旅行・研修旅行が、ますますその質的向上を要求されることはいうまでもありません。

さいわいにして、全修協のこれらふたつの分野における運動は、教育現場の先生がたの営々たるご努力と、各教育機関ならびに友誼諸団体の深いご理解とによって、教育界にゆるぎない地歩を築き、本年はさらにいっそうの進展が期待されます。すなわち、修学旅行については、全修協を中核とする関東・東海・近畿各地区修学旅行委員会ならびにこれら三地区による連絡協議会の永年の実績を基盤とする活動の活発化のほか、昨年以来その組織化が促進されている九州地区修学旅行委員会についで、中国・四国地区における修学旅行委員会結成の機運が急速に高まりつつあり、われわれの運動にいちだんと拍車が加わるものと信じます。

また研修旅行については、従来からの三季にわたる国内研修コースの充実とともに、かねて各方面からの強い要望であった海外視察コースの拡大と、退職教職員のための春秋二季の見学旅行の実施を加え、質量両面の拡充を期するものであります。

七〇年代棹尾の本年は、全修協にとっても、創立二十五周年を明年に控え、時代の変革に対応しつつ、一転機を画すべき重要な年であります。

全修協が教育界に果たすべき公共的使命の重大さを銘記し、その達成に努力を傾注いたしますので、倍旧のご支援とご鞭撻をお願い申しあげます。

## 全修協の新支部長

### 楠原（千葉）伊藤（愛媛）両氏就任

全修協千葉県支部長狩野政一氏（監事）の死去によって新しく楠原信一氏が同県支部長に、また、愛媛県支部長仙波勉氏の退任に伴う新支部長には伊藤深氏がそれぞれ就任した。

千葉県支部長の楠原信一氏は千葉県師範学校卒業後、県内師範学校や旧制中・高女の校長、県視学戦後は千葉市教育長をつとめ現在は県教育会館理事、文化事業部長。高齢にも拘わらず第一線で活動中の県教育界の重鎮。住所は千葉市新宿町一－二－四。

また、愛媛県支部長になった伊藤深氏は大正七年三月七日生れ、県立松山中学校、県師範学校卒、松山市内の各学校に勤務、昭和五十二年三月、松山市立味生小学校長を最後に現職を退き、現在は松山市学校生活協同組合常務理事。現住所は松山市上市一－一－七。

伊藤　深氏

楠原信一氏

**消息**　財団法人・日本教育公務員弘済会（永井熈理事長）の事務局長に専務理事の伊藤喜蔵氏が兼任、前事務局長の近藤時中氏は嘱託に。

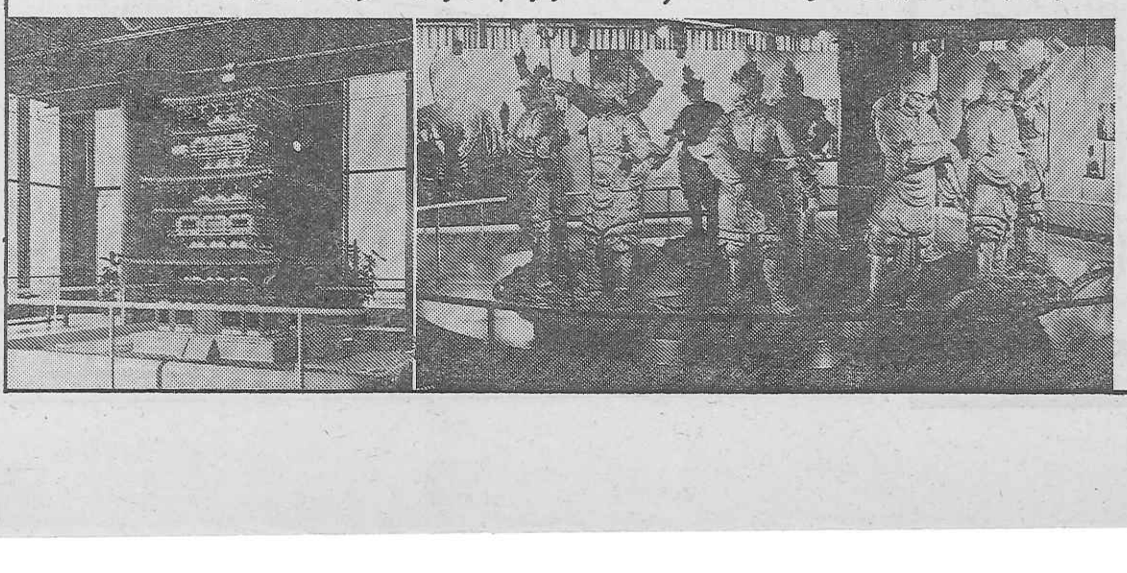
## 風紋

昨年の正月、私は京の平安神宮へ初詣した。家内は息子の受験の願かけという。参拝者は正月のムードよろしく、正装に身を飾り、今年の運勢におみくじを引き、賽銭を納めての願かけ、境内の梅の小枝に願いの紙切れを結んでいる。普段は糞くらえの受験生もご多分にもれず殊勝にも手を合わせて拝んでいる。まさに日本人だけの初詣の風景で、苦しい時の神頼みの感がする。▼私が教育現場にいたころのことである。革新系党員らしき若者が二、三人きて、学校は公共施設だからわれわれの行事のため校舎を貸せという。教育行事に支障を来たすといっても、なお強引に貸せと迫る。私も教育主体性の立場からはっきりと断わった。彼らはボスと思われる市会議員に物をいわせるぞと捨てぜりふを残して去った。その後その筋らしきものからの音沙汰はなかった。人はそれぞれ過去の亡霊を荷っているものだが、年齢的に多分に保守性を身につけている私以上に古い体質をもっているというか、権力をかさに着たがるのだが、あきれて物がいえぬ。国の内外を問わず権力闘争に明け暮れている昨今の世相でもあろう。▼陳舜臣著「北京の旅」の中で「万里の長城を統合して構築したのは秦の始皇帝と思われる。外敵の侵入を防ぐため、厳しく人間を拒絶する山々に挑戦した人間の成果に感動はするが、やり切れない嫌悪感が混じってくる。この壮大な風景を目の前にして、中国四分の一の領地を有した北斉の文宣帝ですら百八十万の人民を動員したといわれ、ましてや中国全土を領した始皇帝なれば、数百万の罪なき民を寒冷朔北の地に強制連行、苦役に服せしめた悲運は決して忘れてはならない」といっている。▼権力を持たねば仕事はできない。ただその権力をいかに生かすかが問題だ。現実的な政策を事とするポリティシャンは多いが、国家百年の大計を図るステイトマンのいかに少ないことか……（S）

昭和54年

あけまして　おめでとう　ございます

1979年



奈良大和路の1,300年を、1ヶ所に あつめました。

奈良歴史教室

日本のふるさと〈奈良大和路〉
その素晴らしい歴史・文化・美術から年中行事・観光の見どころまで
模型・写真・スライドなどでわかりやすく解説。
大和路をより深く　より楽しく理解できる歴史教室に
ぜひ お立寄りください。

入館料………200円　こども100円　団体（25人以上）は割引
営業時間……平日10時～18時
日曜・祝日10時30分～18時30分（月曜休館）
●お問合せ…近鉄奈良駅ビル4・5階　☎0742（24）3901

近鉄

# 地域密着型の経営で

**国鉄総裁　高木文雄**

高木国鉄総裁

謹しんで新年のご挨拶を申し上げます。

日本国有鉄道総裁として三度目の新年を迎えるにあたり、この間に皆様からお寄せいただいたひとかたならぬご支援・ご協力に対し改めて厚くお礼申し上げます。

昨年はダイヤ改正、新規分野への関連事業の拡大、運賃法改正後初の運賃改定など国鉄の再建にとって非常に意義深い年でありました。特に十月のダイヤ改正は、国鉄自身の経営努力の具体策として実施したものであり、貨物輸送の効率化と荷主サービス向上への確実なる第一歩として評価されるべきものと考えております。また旅客営業におきましては輸送力不足に悩む東北・上信越線など東日本を中心とした列車増発、紀勢線の電化開業、武蔵野線の区間延長などのほか、従来は首都圏に集中しがちだった新製車両を地方にも配置するなど、厳しい競争下にある国鉄営業の基盤の整備に努めました。

このダイヤ改正をふまえ、昨年十一月から開始した「いい日、旅立ち」キャンペーンをはじめ、お客様が利用しやすい営業体制作りに積極的にとり組んでまいりました。

本年も、昨年に引き続いて、積極的な営業施策の展開、五十五年度に予定しているダイヤ改正のための準備、東北・上越新幹線建設工事の推進、横浜新貨物線の使用開始など、数多くの懸案をかかえ、これらの問題にとり組むにあたって、大事なのは申すまでもなく「国民の鉄道」として真に信頼されるための努力であります。このためには、各々の地域の皆様のご意見・ご要望を広く反映できるような「地域密着型」の経営体制作りがぜひとも必要であると考えております。

新年を迎えるにあたりまして、本年も全職員一丸となって心を新たに再建への道を歩んでまいりたいと考えておりますので、皆様の変らぬご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

---

# 改善には4条件

## 修学旅行に期待して

**三地区修旅連絡協会長　永山美知雄**

永山美知雄氏

新年おめでとうございます。

修学旅行が生徒にとって生涯の楽しい思い出になるよう、教育的効果があがるよう、年々改善とくふうが加えられ、充実した教育活動の行われていることに感謝を申しあげます。

新教育課程の完全実施が間近かに迫っているとき、修学旅行という伝統のある学校行事を、豊かに充実したものにするために、さらに計画、日程、見学する内容など見直してみる必要があります。また、修学旅行についての批判的な意見にも謙虚に耳を傾けることが大切であると考えます。

その一つは、日程をじゅうぶん検討し、ゆとりのある充実したものにすることです。きびしい日程の中では充実した活動は生まれません。見学する内容を思い切って精選し、生徒が意欲的に、主体的に活動のできる場を与えるようにしたいものです。

二つは、毎日の学校生活の中で生徒の自発的、自治的な活動のできるよう教師の適切な指導を行い自主的に集団の規律や秩序を守る態度を育てておくことが大切です。また、生徒指導の上で、一人ひとりの生徒の悩み、問題行動をしっかりと把握しておいて、事故のないよう万全を期す必要があります。

三つは、修学旅行費が雑費を含めて三万円以上の学校が少なくないようです。国、地方公共団体に青年の家、少年自然の家などの宿泊施設の建設を要求し、宿泊を目指して努力したいと考えております。

四つは、修学旅行の改善向上という観点から、中学校と高等学校の話し合いの機会を持ち、とくに旅行先きについての検討をする必要があると思います。

（関東地区公立中学校修学旅行委員会会長、水戸市立第二中学校長）

---

# 新年を迎えて

## ストの対策も

**笹川　正人**

新春にあたり各位のご清祥をお祝い申し上げます。

全修協結成いらい二十三年を経て、その活動は全国に定着し、教育効果の向上に貢献していることはご同慶の至りに存じます。

新年度は、さらに新しい企画を加えて一層の飛躍が期待されます。さらに毎年繰返される交通ストによる修学旅行の支障には、その教育的、経済的な損失は計り知れないものがあります。全修協の強力な政治力をもってこの解決にも一層の努力を期待いたします。

（全修協・新潟県支部長）

## 福祉と旅行と

**福山　雅夫**

新春を迎え皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

学校生協の活動も、生活物資の供給事業から組合員の多面的な生活要求を基礎とした総合的な福祉事業を指向する時代へ入ってまいりました。

教職員の研修旅行も、その重要な事業のひとつであり、全修協で企画されている春期・夏期の内外の旅に対する期待も極めて大きいものがあります。

本年も楽しく、内容の充実した想い出に残る研修旅行を計画くださるよう期待しております。

（日本生協連学校生協部会・運営委員長、広島県高校生協専務理事）

## 研旅の拡大策

**梅沢　茂**

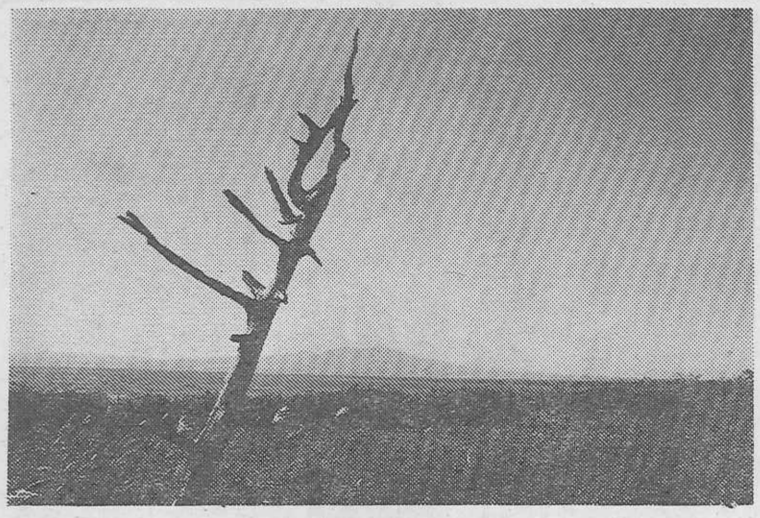
明けましておめでとうございます。

ことしも全修協にとって充実した年であることを祈ってやみません。

全修協の計画する研修旅行は、精選されたコースや内容、巧みな方法によって実施され、まさに研修の名にふさわしいものです。要は現場の先生方の選択眼にかかっていると思われます。

わが支部としては、情報提供の改善により、参加者増を図っていきたいと考えています。

（全修協・栃木県支部長）


写真・昨年度研修旅行写真コンクール入選作品「晩夏の下北半島」（奥東北コース）西谷育子さん（八尾市）

---

謹賀新年

昭和五十四年元旦

財団法人　全国修学旅行研究協会

理事長　山本種一
常務理事　永井熙
同　村山助雄
同　青山良道
理事　高田治郎
同　完戸一郎
同　白滝末紀
同　成瀬幡治
同　魚谷時太郎
監事　芦田重左衛門
同　田尻一雄

本部事務局
局長　前田寛
研究部長　小泉松雄
中央研修部研修部長　藤田勝次郎
経理部長　金谷ユキ子
広報部長　早川泰雄
中央研修部主幹　竹内雅量
中央研修部員　内山憲二
参与（常任）　森本良雄
調査役　岩崎武夫

大阪事務所
調査役　小西惣二郎
所長　曽田震五郎
所員　坂井美恵子

名古屋分室
分室長　鬼頭藤松

蓼科

テラスを降りると、そこはもう湖

すぐ近くの赤沼平という湿原の一部を堰き止めて、女神湖と呼ばれる人造湖ができてから風景は一変した。カラマツの林の中に沈められたこの湖は、蓼科山の北西の裾野に広がる広大な原生林の中の優しいアクセントとなった。

湖畔のカラマツの背丈はあまり高くないので、湖全体の感じは明るい。

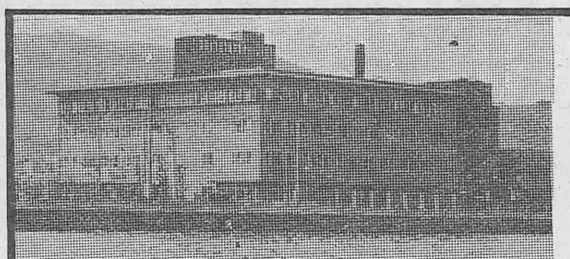
湖水南面の牧場周辺の喧噪に比べて、湖は北岸に二、三のホテルがあるだけで、その名のとおり優雅な静けさをとどめている。

森村誠一「真昼の誘拐」光文社発行より。

女神湖の畔、山の湖のロマンをそのままに漂わせるようにたたずむ明るく清潔なホテル。

女神湖ホテル　〒384－23　長野県北佐久郡立科町芦田
電話　02675－5－6006

案内所　東京：千代田区内神田３－14－８ニシザワビル
電話　03－252－7033
大阪：北区小松原町２－４フコク生命
電話　06－312－8988



いらっしゃいませ

びわ湖国定公園
近江路の旅へ

収容　６００名様
浴場　１５０名様
設備　全館冷暖房
防災　諸設備完備
駐車場　バス20台

政府登録
国際観光旅館　びわ湖ツーリスト・ホテル
大津市におの浜3丁目2－25　電話　大津(0775)24－2321

学ぶ、残す、
自己を見い出す
修学旅行にしたい。
ツーリストが
お世話します。

ツーリストは学校の主体性を尊重し、その特性に沿った個性ゆたかな旅づくりと積極的に取組んでいます。地元警察や病院などとの協力体制を密にし、万が一の事故にも万全の構え。また、事前指導用の修学旅行映画を制作し、指導の推進をバックアップ。多彩なご要望に綿密なプランですばやくお応えしています。

近畿日本ツーリスト
運輸大臣登録一般旅行業第20号

KANSAI KISEN

思い出の修学旅行
印象的な、
瀬戸内海の船旅

●貸切専用船「こはく丸」もご利用下さい

●阪神／別府航路（毎日3便）
●阪神／小豆島・高松便（毎日1便）
●東神戸／日向（宮崎）フェリー（隔日1便）

お問合せは＝大阪市港区弁天6－7－15　☎(06)574－9161
東京都中央区八重洲1-9-9　☎(03)274－4271
ほか、各地支店駐在員・旅行代理店へ

関西汽船